



入所を前に 1939年



廃墟からの出発 1945年



妻と 1971年



患者作業 1938年

屋我地といったらハンセン病と 頭に入っておたわけです

私を生まなかつたらよかつたのに

籠の中の鳥みたいに 全然出られなかつたですよ 外には

そんなままでして生きていくべきなのかな

病気に懼つたことで 犯罪人みたいな 刑務所に入れられている そついつ 心理状態じゃなかつたかな

わけも分からずに 強制収容されて 壕掘りをさせられて だんだん体が弱っていくさ

巡査は腰に剣をがらがらさせて 怖かつたよ

健康者だったら 結婚していたかな 子供もいたかな

「あいつは手曲がつるんだから 治つてない」とか言つたんだよ 社会の人は

蛇よりも人が怖かつたさ

私は社会に居る間 一度も心が真っ白になることはなかつたよ 晴れ晴れとした気持ちになつたことは一度もない

# 沖縄県 沖縄愛楽園編 沖縄県ハンセン病証言集編集総務局編

## ハンセン病証言集

壕の中に座つて そのまま動かさない人は たくさんいた 動かないでじつとして居る人は、ほとんどみんな亡くならた

ハンセン病がいたら 兵隊は国を守れないといつて、強制的にひっぱられたんだ 馬小屋に一人で寝泊まりしていたさ

十カ月してちゃんと生まれている子も殺してよ

明日への希望が一つもないわけさな

同じ人間じゃないか

うちなんかの苦勞わかりますか

愛楽園、行きませんよ 同じ死ぬんだら 家族の元で死にたい

姑から「もう帰ってくるな」と言われるようになってね

断種は辛かつたけど 嫌だと断つたりもしたけどね 諦めて切られたよ

一番何が辛いつて言たらさ 兄弟親戚、親、子供とかが理解ないといかんわけよ

今のまま生活していれば それもいいかもしれないけど このまま本当に 私たちの人権を無視した中でずっと生活していくのか

2007年8月31日 発行  
B5判 600頁  
頒布価格 3000円



監禁室 1972年

■ お問い合わせ  
沖縄愛楽園自治会  
沖縄県名護市済井出 1192 番地  
TEL・FAX 0980-52-8115  
e-mail airakuen@woody.ocn.ne.jp

# 『沖縄県ハンセン病証言集 沖縄愛楽園編』



愛楽園 1967年

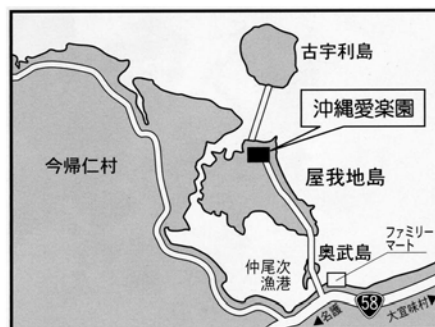
僕らが  
墓場まで持っていこうと思っていたことを  
半分あんたたちに背負わせたんだ

ボランティア調査員 延べ 650 人が  
2002 年から5年の歳月をかけ聞き取った  
ハンセン病を生きた 沖縄の人々の記録

## ■ 購入方法 ■

### I 沖縄愛楽園自治会で購入できます

沖縄愛楽園自治会  
〒905-1635  
沖縄県名護市済井出 1192 番地  
TEL&FAX 0980-52-8115



### II 発送を希望される場合

- ① 下記注文書にご記入後、FAX 送信下さい (FAX 番号 0980-52-8115) あるいは e-mail [airakuen@woody.ocn.ne.jp](mailto:airakuen@woody.ocn.ne.jp) に、住所、氏名、電話番号、購入希望冊数をお知らせ下さい。
- ② 郵便振替口座に代金 3,500 円 (書籍 3,000 円+送料 500 円) をお振り込み下さい。

記号 17060 番号 4874381  
加入者名 沖縄愛楽園自治会

- ③ ご入金確認後、郵送 (郵便局 EXPACK) 致します。(2冊以上の場合別途相談)

## FAX専用注文書

平成 年 月 日

フリガナ  
お名前

ご住所 〒

電話

FAX

冊数 沖縄県ハンセン病証言集 沖縄愛楽園編 冊